

ふるさと歴史アラカルト

金メダリストと岩国

岩国出身の金メダリスト、田島直人選手。今回は田島選手について、岩国の新聞「興風時報」の記事を中心に紹介します。

田島直人は大正元(1912)年、大阪府に生まれました。その後、田島家の故郷・岩国に戻ると、岩国尋常高等小学校に入学します。幼い頃から運動神経が良かった田島は旧制岩国中学校に進学後、練習を重ね、4年生の頃、山口県の体育大会の走り幅跳びで優勝します。さらに旧制山口高等学校在学時には、全国大会の三段跳びで優勝、昭和7(1932)年の第10回オリンピック大会(ロサンゼルス)に出場します。結果は走り幅跳び6位とメダルには届きませんでしたが、次の大会ではより良い順位を狙えると確信したといえます。

そして京都帝国大学卒業後、昭和11年のオリンピック大会(ベルリン)で再び代表選手に選ばれます。岩国でも、開催地に向かう途中で麻里布駅(現在の岩国駅)に立ち寄った田島を約

1500人が送り出すなど、期待を寄せる様子がかがえます。本番、田島はまず走り幅跳びで3位入賞、続く三段跳びで世界記録を持つ選手を上回る記録で、金メダルを獲得しました。岩国でもその勝利に大いに盛り上がり「興風時報」の紙面は、田島の快挙の報と人々からの祝辞で連日埋まり、祝電用に家族の住所まで掲載されるほどでした。

実はこの大会が開催される前日に、昭和15年の次回大会は東京で開催されることが決まっていました。田島も「次のオリンピック大会では今回以上の良い成績を上げるために努力する」と抱負を語っています。しかし戦争の拡大でオリンピックは中止となり、田島も戦場へと向かいました。終戦後は選手を引退し、後進の育成に当たりました。現在、山口県では「田島直人記念陸上競技大会」が毎年開催されています。かつて日本を沸かした岩国出身選手の名前を冠した大会から、今年もまた若い選手が羽ばたいていくのでしょう。

いわくにちようこかん 岩国徴古館

昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館
住所：横山二丁目7-19 ☎(41)0452
休館日：月曜(祝日の場合はその翌日)

7月12日(日)から企画展「オリンピックと岩国」を開催します。



写真：田島直人のオリンピック大会での活躍の知らせが載った「興風時報」(昭和11年8月6・8日紙面)

岩国市 人口・世帯

人口 132,741人【前月比 +156人】 男性 63,049人 女性 69,692人

世帯 65,586世帯【前月比 +148世帯】 ※外国人人口を含む(2020年5月1日現在)

交通事故発生件数

4月分事故件数 21件(86件) 死者数 2人(3人) 傷者数 27人(110人)

※高速道路発生分を除く。()内は2020年累計

目の不自由な人へ

「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。
お問い合わせは、広報戦略課 ☎(29)5016 FAX(21)3337